

## 平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年7月26日

上場会社名 株式会社日清製粉グループ本社 上場取引所 東証一部・大証一部  
 コード番号 2002 URL <http://www.nisshin.com>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 長谷川 浩嗣  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務本部 広報部長 (氏名) 稲垣 泉 TEL (03)5282-6650

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績 (平成19年4月1日 ~ 平成19年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	106,243	1.5	4,072	△10.5	5,622	△1.0	3,136	10.6
19年3月期第1四半期	104,645	△0.5	4,550	△6.6	5,677	0.1	2,836	△3.2
19年3月期	418,190	—	19,184	—	22,815	—	12,303	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	12	38	12	38
19年3月期第1四半期	11	22	11	22
19年3月期	48	66	48	63

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
20年3月期第1四半期	408,520	303,143	303,143	303,143	66.9	1,079	49	
19年3月期第1四半期	391,257	288,348	288,348	288,348	66.6	1,031	72	
19年3月期	408,437	300,306	300,306	300,306	66.3	1,069	71	

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	11,175	△10,835	△10,835	△10,835	△6,134	△6,134	42,846	42,846
19年3月期第1四半期	5,051	△4,765	△4,765	△4,765	△3,551	△3,551	39,627	39,627
19年3月期	17,469	△6,961	△6,961	△6,961	△5,225	△5,225	48,452	48,452

2. 平成20年3月期の連結業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日）【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	212,000	2.0	8,300	△7.4	10,500	△3.9	6,500	20.4	25	66
通期	430,000	2.8	19,000	△1.0	22,600	△0.9	12,000	△2.5	47	37

中間期、通期とも平成19年5月11日に発表の当初業績予想と変更はございません。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無  
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
 (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。業績予想の前提条件その他の関連する事項については4ページをご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

[当第1四半期の概況]

当第1四半期は、厳しい販売競争が継続する中、各事業において新製品投入やシェアアップを図り、売上げを拡大するとともに、更なるコストダウンに取り組んでまいりました。また、本年4月には外国産小麦売渡価格が平均1.3%値上がりしたため、小麦粉の価格改定を行いました。外国産小麦以外の原材料や商品等の調達コストも相場の高騰や円安により上昇し、コストダウンでは吸収できない水準に達しており、各事業において減益の主因となっていることから、適正な利益を確保するため、価格改定に向けての取組みに着手いたしました。

この結果、当第1四半期の業績は、売上高は1,062億43百万円（前年同期比101.5%）と増収になりましたが、営業利益は40億72百万円（前年同期比89.5%）と、主として調達コストの上昇と販売条件の悪化により減益となりました。経常利益は営業外損益の改善により56億22百万円（前年同期比99.0%）と前年同期並みとなり、四半期純利益は遊休土地の売却による特別利益の計上により31億36百万円（前年同期比110.6%）と増益となりました。

[セグメント別営業概況]

①製粉事業

製粉事業につきましては、本年4月より政府売渡価格変動制が導入され、外国産小麦の政府売渡価格が平均1.3%値上げとなったことに伴い、5月10日から業務用小麦粉の価格改定を行いました。営業面では、低価格製品への需要シフトが継続する厳しい環境となる中、小麦粉価格改定と併せてリレーションシップ・マーケティングを積極的に推進し、お客様との関係強化に努めた結果、小麦粉の出荷は前年を上回りました。

生産・物流面では、来年の稼働に向けて東灘工場新ライン増設工事を進めるなど生産性向上の取組みを進めるとともに、安心・安全対策を更に強化してまいりました。

副製品であるふすまにつきましては、穀物相場の高止まりを背景に価格は堅調に推移しました。

海外事業につきましては、積極的な営業施策の展開を図り、売上げは前年を上回りました。

②食品事業

加工食品事業につきましては、国内においてはパスタ、プレミックス、冷凍食品、中食・惣菜などの拡販を図り、売上げは前年を上回りましたが、原材料価格の高騰と円安による調達コストのアップや販売競争激化による販売条件の悪化により収益面では厳しい状況が継続しました。海外においては、中国の新プレミックス工場が本格稼働したことに伴い新しい需要開拓を図り、海外でもプレミックスの売上げは前年を上回りました。

酵母・バイオ事業につきましては、酵母事業では、イーストや製パン改良剤、バタークリームなどの売上げが好調に推移しましたが、マヨネーズ・惣菜などの売上げが前年を下回ったため、ほぼ前年並みの売上げとなりました。尚、原料価格のアップに伴い本年4月よりイーストの価格改定を実施しました。バイオ事業は生化学・免疫製品や養魚用飼料などの売上げは前年を上回りましたが、バイオニュートリショナル製品や実験動物用飼料、研究支援事業などが低迷し、売上げは前年を下回りました。

健康食品事業につきましては、コエンザイムQ10素材の販売は数量、価格両面において引き続き厳しい環境が続いており、売上げは前年を下回りました。こうした中、ダイエット食品「r a c h i c Diet（ラシク・ダイエット）」に2品目追加するなど新製品上市を加速し、消費者向け製品の拡販に注力しました。

### ③その他事業

ペットフード事業につきましては、原材料価格の高騰など調達コストアップを受け、収益確保に取り組んだ結果、売上げは前年を下回りました。

エンジニアリング事業につきましては、昨年、大口工事が完工した反動により売上げは前年を下回りましたが、関連業界の設備投資が堅調に推移し、当社グループ外向けの売上げは前年を上回りました。

メッシュクロス事業につきましては、主力のスクリーン印刷用メッシュクロスの売上げは前年を下回りましたが、携帯電話用、プラズマディスプレイ・液晶テレビ向けスピーカーグリル等の産業用資材の売上げが大きく伸張したことにより、全体で売上げは前年を上回りました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における資産、負債、純資産の状況ですが、流動資産は1,723億円で主にたな卸資産の減少により、前年度末に比べ、63億円減少しました。固定資産は2,361億円で主に有形固定資産と投資その他の資産の増加により、前年度末に比べ63億円増加しました。この結果、総資産は4,085億円で前年度末とほぼ同額となりました。また、流動負債は642億円で主に短期借入金の減少により前年度末に比べ、30億円減少しました。固定負債は410億円で前年度末に比べ2億円増加しました。この結果、負債は合計1,053億円で前年度末に比べ27億円減少しました。純資産は四半期純利益による増加と配当金支払いによる減少、評価・換算差額等の増加などにより、前年度末に比べ28億円増加し、3,031億円となりました。

次にキャッシュ・フローですが、営業活動によるキャッシュ・フローは111億75百万円の資金増加となりました。この資金を戦略的な設備投資に63億68百万円投入するとともに、借入金の返済に35億6百万円充当いたしました。一方で、今後の戦略投資等に対応する待機資金につきまして、その運用効率を高めるため3ヶ月を超える定期預金及び有価証券等での運用に39億93百万円支出いたしました。また、株主の皆様への利益還元といたしまして、22億80百万円の配当を実施いたしました。

この結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物残高は前年度末比56億5百万円減少し、428億46百万円となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当初予想通り第1四半期は前期に比べ収益は厳しい状況になっておりますが、本年度上期をボトムとして業績を回復基調に戻すべく、取組みを進めてまいります。国内においては、一層のシェアアップ、次世代新製品開発のスピードアップ並びにコストダウンを図るとともに、調達コストに見合った適正な利益の確保を図ってまいります。また、海外においては、北米、東南アジア、中国でコスト面、販売面の競争力強化を図ってまいります。

以上により、平成20年3月期の連結業績予想につきましては、5月公表の予想通り、売上高は4,300億円、営業利益は190億円、経常利益は226億円、当期純利益は120億円としております。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

### (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

固定資産の減価償却の方法については、影響が僅少なため、簡便な方法を採用しております。

### (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期) (18.6.30)	前連結会計年度 (19.3.31)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期) (19.6.30)	比 較 (△は減)	
				前年同期比	前年度比
(資 産 の 部)					
流 動 資 産	170,384	178,649	172,346	1,961	△6,302
現金及び預金	41,649	45,649	41,973	324	△3,675
受取手形及び売掛金	56,081	60,093	61,413	5,331	1,319
有 価 証 券	19,931	15,913	17,959	△1,972	2,045
たな卸資産	38,141	44,647	37,144	△997	△7,503
そ の 他	14,808	12,560	14,072	△735	1,511
貸倒引当金	△228	△214	△216	12	△1
固 定 資 産	220,872	229,788	236,174	15,301	6,385
有形固定資産	112,931	114,701	118,106	5,174	3,404
建物及び構築物	44,425	44,224	43,929	△496	△295
機械装置及び運搬具	32,932	33,596	33,338	406	△258
土 地	30,733	30,851	33,369	2,635	2,518
そ の 他	4,840	6,028	7,468	2,627	1,440
無形固定資産	7,583	6,527	6,017	△1,566	△509
投資その他の資産	100,357	108,559	112,050	11,693	3,490
投資有価証券	94,815	103,612	107,128	12,313	3,516
そ の 他	5,921	5,234	5,200	△720	△33
貸倒引当金	△379	△287	△279	100	8
資 産 合 計	391,257	408,437	408,520	17,263	82

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期) (18.6.30)	前連結会計年度 (19.3.31)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期) (19.6.30)	比 較 (△は減)	
				前年同期比	前年度比
(負債の部)					
流動負債	62,705	67,304	64,294	1,589	△3,009
支払手形及び買掛金	24,610	28,439	28,738	4,128	299
短期借入金	7,483	7,491	4,025	△3,458	△3,466
未払費用	10,755	12,910	10,816	60	△2,094
その他	19,855	18,463	20,714	858	2,250
固定負債	40,203	40,827	41,082	878	254
長期借入金	1,561	1,330	1,316	△244	△13
繰延税金負債	19,417	22,270	23,225	3,808	955
退職給付引当金	11,907	9,863	9,154	△2,753	△708
その他	7,317	7,362	7,384	67	22
負債合計	102,909	108,131	105,376	2,467	△2,755
(純資産の部)					
株主資本	223,798	231,436	232,301	8,502	864
資本金	17,117	17,117	17,117	—	—
資本剰余金	9,479	9,779	9,777	297	△2
利益剰余金	200,363	207,550	208,406	8,043	856
自己株式	△3,161	△3,010	△3,000	161	10
評価・換算差額等	36,971	39,537	41,168	4,197	1,630
その他有価証券評価差額金	37,061	39,102	40,493	3,432	1,390
繰延ヘッジ損益	37	41	143	105	102
為替換算調整勘定	△127	394	532	659	138
少数株主持分	27,577	29,331	29,673	2,095	342
純資産合計	288,348	300,306	303,143	14,795	2,837
負債純資産合計	391,257	408,437	408,520	17,263	82

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期) (18.4.1~18.6.30)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期) (19.4.1~19.6.30)	比 較 (△は減)	前連結会計年度 (18.4.1~19.3.31)
売 上 高	104,645	106,243	1,597	418,190
売 上 原 価	70,893	73,049	2,155	285,598
売上総利益	33,751	33,193	△558	132,591
販売費及び一般管理費	29,201	29,120	△80	113,407
営業利益	4,550	4,072	△477	19,184
営業外収益	1,290	1,640	349	4,234
受取利息	35	103	68	259
受取配当金	614	628	14	1,150
持分法による投資利益	432	553	120	1,574
そ の 他	208	355	146	1,251
営業外費用	164	90	△73	603
支払利息	38	43	5	181
そ の 他	125	46	△78	422
経常利益	5,677	5,622	△54	22,815
特別利益	10	578	567	3,776
特別損失	279	297	18	2,547
税金等調整前四半期(当期)純利益	5,408	5,903	494	24,044
法人税、住民税及び事業税	2,067	2,280	212	7,875
法人税等調整額	—	—	—	1,494
少数株主利益	504	485	△18	2,371
四半期(当期)純利益	2,836	3,136	300	12,303

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(3) 四半期連結株主資本等変動計算書

平成19年4月1日から  
( )  
平成19年6月30日まで

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日残高	17,117	9,779	207,550	△3,010	231,436
四半期中の変動額					
剰余金の配当			△2,280		△2,280
四半期純利益			3,136		3,136
自己株式の取得				△22	△22
自己株式の処分		△2		32	30
株主資本以外の項目の四半期中の変動額(純額)					
四半期中の変動額合計	—	△2	856	10	864
平成19年6月30日残高	17,117	9,777	208,406	△3,000	232,301

	評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日残高	39,102	41	394	39,537	29,331	300,306
四半期中の変動額						
剰余金の配当						△2,280
四半期純利益						3,136
自己株式の取得						△22
自己株式の処分						30
株主資本以外の項目の四半期中の変動額(純額)	1,390	102	138	1,630	342	1,973
四半期中の変動額合計	1,390	102	138	1,630	342	2,837
平成19年6月30日残高	40,493	143	532	41,168	29,673	303,143

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期) (18.4.1~18.6.30)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期) (19.4.1~19.6.30)	前連結会計年度 (18.4.1~19.3.31)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	5,408	5,903	24,044
減価償却費	2,988	3,248	12,565
利息戻及び受取配当金	△610	△688	△1,227
持分法による投資利益	△432	△553	△1,574
売上債権の増減額(増加：△)	1,671	△1,271	△2,256
たな卸資産の増減額(増加：△)	1,526	7,524	△4,782
仕入債務の増減額(減少：△)	△1,219	178	2,490
未成工事受入金の増減額(減少：△)	1,008	△88	172
その他	△1,810	△903	△4,821
小 計	8,530	13,348	24,612
利息及び配当金の受取額	1,257	1,217	2,753
利息の支払額	△29	△40	△173
法人税等の支払額	△4,706	△3,348	△9,723
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,051	11,175	17,469
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入れ・払戻し(預入れ：△)	1,294	△2,925	7,152
有価証券の取得・売却(取得：△)	△1,624	△1,068	1,358
有無形固定資産の取得による支出	△4,674	△6,368	△14,096
投資有価証券の取得・売却(取得：△)	△10	△1,032	△3,822
その他	249	560	2,446
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,765	△10,835	△6,961
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
借入金の増減額(減少：△)	△311	△3,506	△545
配当金の支払額	△2,785	△2,280	△5,065
その他	△454	△346	385
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,551	△6,134	△5,225
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	90	187	366
V 現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	△3,175	△5,605	5,648
VI 現金及び現金同等物の期首残高	42,803	48,452	42,803
VII 現金及び現金同等物の期末残高	39,627	42,846	48,452

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前年同四半期 (平成19年3月期第1四半期 平成18年4月1日～平成18年6月30日)

(単位：百万円)

	製粉	食品	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	38,410	56,465	9,769	104,645	—	104,645
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	4,202	196	1,924	6,323	(6,323)	—
計	42,612	56,662	11,694	110,969	(6,323)	104,645
営業費用	40,215	55,353	10,653	106,223	(6,127)	100,095
営業利益	2,397	1,308	1,040	4,746	(195)	4,550

当四半期 (平成20年3月期第1四半期 平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(単位：百万円)

	製粉	食品	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	39,114	56,528	10,600	106,243	—	106,243
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	4,254	192	462	4,909	(4,909)	—
計	43,368	56,720	11,063	111,153	(4,909)	106,243
営業費用	41,019	55,774	10,198	106,992	(4,822)	102,170
営業利益	2,349	946	864	4,160	(87)	4,072

前連結会計年度 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位：百万円)

	製粉	食品	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	154,722	220,545	42,922	418,190	—	418,190
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	17,253	795	4,278	22,327	(22,327)	—
計	171,976	221,340	47,200	440,517	(22,327)	418,190
営業費用	162,236	216,062	42,485	420,784	(21,778)	399,006
営業利益	9,740	5,278	4,714	19,732	(548)	19,184

(注) 1. 事業区分の方法は、製品の種類の類似性を考慮して行っております。

2. 各事業区分の主要製品

製粉…小麦粉、ふすま

食品…プレミックス、家庭用小麦粉、パスタ、パスタソース、冷凍食品、チルド食品、

製菓・製パン用資材、生化学製品、ライフサイエンス事業、健康食品

その他…ペットフード、設備工事、メッシュクロス、荷役・保管